

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕 病 院 長 岩波 明

〔編集責任者〕 広報委員長 常岡 俊昭

〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第 1 6 5 号

[2 0 2 1 年 5 月 3 1 日 発 行]

公開講座のお知らせ

7 月 1 7 日 土 曜 日 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0

精神医学教室 講師 常岡俊昭

烏山病院では年に二回、地域の方々へ当院で行っている研究や臨床から得られた知見を説明させていただく公開講座を開いています。例年、病院に集まっていたいで熱気ある中で多くの質問を頂きながら行っていますが、今年はコロナ対策もあり完全オンラインで行わせて頂きます。

オンラインであることは、直接の迫りに欠けるという意見がある一方で、遠くの人でも、短時間しか時間が空かない人でも参加できる点は魅力ですし、演者も遠くから参加できるというメリットもあります。今回は「依存症」をテーマに、烏山病院で中心になっているものと、地域で助けてくれている人たちで話させていただくつもりです。

最初に常岡から依存症にまつわる様々なデマを確認させて頂きます。終わったときには依存症に関するイメージが変わってくれているのではないかと思います。新村先生からは依存症者は自身の辛さを一時的に隠してくれる魔法の薬である依存対象をどのように手放していくか、病院はどのようにそのお手伝いができるかを、関永看護師からは最近増えているゲーム依存に対してのかかわりを報告させて頂きます。

後半では、初診患者さんが来院したときに、自助グループの良さを電話で直接患者さんに説明してくれている断酒会の保坂さん、当院から場所も近く見学や自助グループの情報などでお世話になっている渋谷ダルクの施設長の小宮さん、ギャンブル障害専門の回復施設で当院のギャンブル障害治療プログラムにも顔を出しているグレイスロードの服部さんにそれぞれの組織や仲間についてお話しいたします。最後には厚労省の依存症啓発漫画を描いている三森みささんに依存症と啓発について話してもらいます。みんなが興味深い話をしてくれることは確実で、僕自身が非常に楽しみな2時間半です。「依存症って何?」「言葉は聞いたことあるけど真面目に考えた事なんかない」という方でも十分に楽しんでいただける内容にできればと思っています。

ぜひ烏山病院のホームページにアクセス頂き、ZOOMのIDなど確認頂ければと思います。何か疑問点や確認などありましたら、広報委員会のアドレス (k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp) にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

あなたの知らない依存症治療の世界

～依存症治療のハマったさんに聞いてみた

精神医学教室 講師 常岡俊昭

「メディカ」という出版社をご存じでしょうか？看護師さんや看護学生さん向けの出版社で、様々な看護に必要な情報誌を発刊しています。その出版社のホームページに「メディカ LIBRARY」というコーナーがあります。様々な分野の専門家たちがわかりやすく魅力を伝えています。そこで当院のスタッフたちで「依存症」をテーマにリレーエッセーを書かせて頂きました。

名付けて「あなたの知らない依存症治療の世界～依存症治療のハマったさんにきいてみた」です。

<https://ml.medica.co.jp/nurse/414/>

依存症は社会の病ともいわれます。依存症からの回復者が本当の意味で社会復帰するためには社会側が偏見を持たずに受け入れてくれる必要もあります。このエッセーの筆者たちはみんな依存症者になってしまった人たちです。彼らの何がこれだけ多くの医療者の心を動かすのか、ぜひ皆さんとも分かち合いたいです。

本来は看護学生・看護師さん用なのですが、実際には医療とは全く関係のない方々でも読み物として楽しめると思います。当院でスタッフたちが依存症をどのように考えているか、どのような依存症治療が行われているか的一端を見ていただければと思います。毎週月曜日にアップされています！

	執筆者	内容
1	常岡俊昭(Dr)	「依存症治療に起こった革命を、あなたはいくつ知っていますか？」
2	坂内めぐみ (Ns 師長)	依存症の看護は特殊な看護じゃないですよ！
3	岩見有里子 (Dr)	身体の治療が終わった、そのあとにかかわる依存症治療
4	藤澤尚子 (OT)	依存症が見過ごされると
5	常岡俊昭(Dr)	依存症者はどこにいる
6	森 千里 (Ns)	依存症患者と関わって学んだこと
7	山本和弘 (PSW)	依存症支援の魅力
8	塚越拓美 (Ns)	ヒーラーとなる依存症患者さんたち
9	常岡俊昭(Dr)	ハームリダクションについて
10	新村一樹 (Dr)	依存症とは縁も所縁もない世界からやってきて
11	横山佐知子 (Dr)	最も身近なスタッフが持つ力、援助者自身が癒されること
12	常岡俊昭(Dr)	依存症治療の新しい手法のあれこれ
13	橘 聡子 (Ns)	「救うものが救われる」すべての患者-看護師間にあるべき関係
14	小林崇志 (OT)	「作業」を通しての依存症患者との向き合い方
15	山田真理 (Dr)	偏見が及ぼす悪循環

委員会活動 ウェルカムボード作り

デイケアメンバーさん

私は委員会活動の中の広報委員会に所属しています。広報委員会では、あおぞらの記事を書いたり、デイケア掲示板でプログラム紹介を作ったり、プログラムの告知ポスターを描いたり、その他デイケアに掲示する様々なポスター作製などを担当しています。その中で私は、最近デイケアの入り口に大きなウェルカムボードを作りました。模造紙に、「からすやまデイケアへようこそ！」の文字と、デイケアのスタッフさん達と、デイケアに通う様々な利用者さん達が、みんなで手を振って、デイケアに来る人達を歓迎している様子を描きました。これまで描いたポスターの中で最も大きく、大作になりました。デイケアに入ったとき一番に目に入るデイケア入口に設置され、スタッフさんやメンバーさん達も喜んでくれました。これからデイケアに初めて来る人やメンバーさん達がデイケアに来た時に、このウェルカムボードを見て、歓迎されて嬉しい気持ちになってくれたらと思います。



職員紹介

精神保健福祉士 水野有紀

5月1日より精神保健福祉室に入職しました水野有紀と申します。これまでは目黒区の国立病院機構東京医療センターで精神科担当ソーシャルワーカーとして働いてきました。

今回、烏山病院で勤務できることをとても嬉しく思っています。精神科単科病院は初めてなので、初心に立ち返って日々吸収し、1日でも早くチーム医療の一員として活躍できるよう努力したいと思います。ご指導のほどよろしくお願いします。

ご支援の有難うございます

100社以上の企業が医療機関に食品協賛を行って下さり、その支援物資を取りまとめている「We Support」様よりご支援をいただきました。そのほか企業や個人の方々からも、ご支援を頂戴しております。これまでのご支援についてはホームページに掲載しておりますが、皆様のご支援を心から感謝申し上げます。

今後も院内感染防止に病院職員一丸となって取り組んでまいります。



総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時
土曜日 8時30分～13時
電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329
土曜日 03-3300-5231
◎初診受付：月曜日～土曜日・8時30分～11時
◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《4月》	入院(前月)	外来(前月)
◆延患者数	8,423 (8,772)	6,060 (6,709)
◇一日平均患者数	280.8(283.0)	242.4(258.0)
◆診療実日数	30(31)	25 (26)

【編集後記】

オリンピックはやるのかやらないのか？
緊急事態宣言は？
明日の感染者は増えるのか減るのか？
と一喜一憂してしまう事が多い最近です。自分ではどうしようもない事を気にしすぎると辛くなってしまふ事も多くあります。僕の専門の依存症では「変えられないものを受け入れる落ち着きと、えられるものは変えていく勇気と、二つを見分ける賢さを」が大切と言われていて、僕も大事にしています。皆さんも二つを見分けてみてはどうでしょうか？

広報委員 常岡

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp

